

平成 27 年 2 月 15 日

## サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 法政大学女子高等学校 鈴木恵子
2. 講師氏名: Alexander H. VIBORG 博士
3. 同行者氏名: 山田千早 博士
4. 実施日時: 平成 27年 2月 6日 (金) 10:55 ~ 12:45
5. 参加生徒: 3 年生 5 人 (合計 5 人)  
備考: (例:理数科の生徒) 生命科学系進学予定生徒
6. 講演題目: (英文) How oligosaccharides are consumed by Bifidobacterium and Lactobacillus  
(和文) 乳酸菌(ビフィズス菌とラクトバチルス)がオリゴ糖を分解するしくみ
7. 講演概要: 自己紹介、出身国デンマークの紹介、英語や日本語のデンマーク語など、語学に関する話、および、腸内細菌に関する話。腸内細菌は、個人や食生活でその構成が様々であり、腸内細菌が健康や病気に関係していること、講演者はビフィズス菌やラクトバチルスがどのようなオリゴ糖を消費しているかなど研究していること、母乳中にはオリゴ糖が含まれていることなど。
8. 使用言語: 英語 (日本語)
9. 講演形式:
  - (1) 講演時間 110 分 質疑応答時間 10 分
  - (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)  
プロジェクター使用による講演
  - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)  
同行者による難解な部分の翻訳
  - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)  
講義内容のサマリー、キーワード(英語)、腸内細菌に関する英文記事を読む
10. 学校からの支給経費(該当がある場合):  交通費  宿泊費  謝金
11. その他特筆すべき事項: 受講者側(生徒)も自分の研究を紹介したりして、活発に交流した。